

日本助産診断実践学会 第1回学術集会

日時

9月8日(土)9:30~18:30

会場

ヒューリックカンファレンス浅草橋
(東京都台東区浅草橋 1-22-16)

メインテーマ

助産師活動の根拠を示す助産診断
の未来

プログラム

- 会長講演「助産ケアの羅針盤としての助産診断の活用」 齋藤益子(東京医療保健大学大学院)
- 教育講演「助産診断を臨床の知に—実践の根拠としての助産診断」 岩崎和代(東都医療大学)
- ランチョンセミナー「綺麗になるための最良の方法—卵子から学ぶ」 森本義晴(HORAC グランフロント大阪クリニック)
- 特別講演Ⅰ「分娩管理における臨床診断」 正岡直樹(東京女子医大八千代医療センター)
- 特別講演Ⅱ「産科医療補償制度からみた胎児心拍数モニタリング」 藤森敬也(福島県立医科大学)
- シンポジウム「助産診断の現状と課題」：「助産診断の臨床での活用(電子化を目指して)」 齋藤久美子(岐阜大学附属病院)／「助産基礎教育に助産診断の教育の展開」 梅野貴恵(大分県立看護科学大学)／「助産診断を学んで臨床でどう活用しているか」

記念祝賀会／懇親会

17:00~

参加費

事前登録：5000円

※8月31日(金)まで

当日：6000円

学生：2000円

申し込み先

下記ホームページより

問い合わせ先

(株)ヒューマンリプロ・K

☎ 045-620-7560

FAX 045-620-7563

HP <http://jsmdp.jimbo.com/>

思春期保健セミナーコース Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

日程

9月15日(土)~17日(月)

会場

【コースⅠ】

● 東京会場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 3階ホール 3A
(東京都新宿区市谷八幡町 8 TKP 市ヶ谷ビル)

● 大阪会場：TKP ガーデンシティ大阪梅田 2階バンケット 2A
(大阪府大阪市福島区福島 5-4-21 TKP ゲートタワービル)

● 福岡会場：TKP 博多駅前シティセンター 8階ホール C(福岡県福岡市博多区博多駅前 3-2-1 日本生命博多駅前ビル 8F)

※大阪会場、福岡会場は東京会場の中継。

【コースⅡ】

● ヒューリック浅草橋ビル(東京都台東区浅草橋 1-22-16)

【コースⅢ】

● 成田ビューホテル(千葉県成田市小菅 700)

対象

保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教諭、医師、児童相談員等の資格をもつ者または思春期保健相談士(その他の資格は要問い合わせ)

内容

思春期にかかわる指導者(専門職)を対象に、思春期に起こるさまざまな問題に適切な対応ができるよう、総論(コースⅠ)から各論(コースⅡ)、実践(コースⅢ)までを段階的に学習。本コースでは、思春期保健の総論として、多角的な支援ができるよう身体的・精神(心理)的方面を幅広く学んでいただきます。

講師

内山絢子、川村百合、北村邦夫、笹原信一郎、高波真佐治、高村寿子、田代美江子、種部恭子、福富護、森宗

定員

東京会場 130名、大阪会場 100名、福岡会場 80名

参加費

3万2400円(思春期保健相談士の方は1万6200円で受講可能、税込)

申し込み方法

下記ホームページにアクセスし、申し込み。

HP <https://jfpa.jp/seminar/sem/seminar.php?sid=2018-002-081>

※コースⅠと同時に、コースⅡ、Ⅲも申し込み可能。

申し込み期間

9月9日(日)まで

問い合わせ先

一般社団法人日本家族計画協会 研修担当

☎ 03-3269-4785

妊婦ヘルスケア・トレーナー 育成コース 2018 in 東京、名古屋

日時

9月15日(土)10:00~17:45

9月23日(日)10:00~17:30

会場

スクエア荏原(東京都品川区荏原
4-5-28)

対象

妊娠期・産褥期の運動を通しての
健康支援に興味がある助産師、看護
師、保健師、医師。それ以外は
要相談。

テーマ

病院や行政、子育て支援センター
などで、10分以内のできる妊娠期
・産褥期の簡単なエクササイズ
プログラムとその指導法を学び、妊
婦・褥婦が運動を始めるきっかけと
自宅でのセルフケアの促進につなげ
る。

プログラム

【9月15日(土)】

- 両親教室などで指導する10
min. フィット・フォー・マタニ
ティ Papa
- お産に向けた機能改善エクササ
イズ
- 産褥期(入院中)の疲労改善エク
ササイズ

【9月23日(日)】

- 両親教室などで指導する10
min. フィット・フォー・マタニ
ティ Mom
- 下半身(骨盤周囲、下肢)のケア
エクササイズ／腰痛、足のつりな
どの予防改善と骨盤周囲のケア
- 上半身(肋骨周囲、骨盤周囲)の
ケアエクササイズ／肩こり、
腰痛などの予防改善と妊娠期の
姿勢づくり

※各講座2時間、いずれか1日でも
受講可。また1講座ずつでも受
講可。

講師

小林香織(NPO 法人フィット・

フォー・マザー・ジャパン理事長),
長坂桂子(母性看護専門看護師),
宮澤恵子(助産師)

定員

各講座25名

参加費

6480円(1講座あたり。資料、練
習用エクササイズ動画、フィット・
フォー・マタニティ Mom エクササ
イズシート、受講報告書、修了証
書が含まれます)

※参加には2018年12月までの
会費が必要となります(入会金
3240円、会費1080円/月)。

申し込み方法

NPO 法人フィット・フォー・マ
ザー・ジャパン WEB ページからお
申し込みください。

HP <https://www.fitformotherjapan.org/>

申し込み締切

9月5日(水)

問い合わせ先

NPO 法人フィット・フォー・マ
ザー・ジャパン

✉ fit.for.mother.japan@gmail.com

第8回日本小児在宅医療 支援研究会

日時

9月29日(土)9:00~17:30

会場

神戸国際会議場 1階メインホー
ル、5階(501, 502, 504)(兵
庫県神戸市中央区港島中町6-
9-1)

テーマ

どないするねん、地域での小児包
括支援

プログラム

- 基調講演「医療的ケア児の地域
包括支援システムの構築に向け

て」田村正徳(埼玉医科大学特
任教授、日本医師会小児在宅ケ
ア検討委員会委員長)

- 特別講演「在宅における小児の
end-of-life care 支援」前田浩
利(医療法人はるたか会理事長)
- シンポジウム「どないするねん、
地域での小児包括支援—近畿で
のユニークな取り組み」
- 市民公開講座(無料)「人工呼吸
器をつけて地域で暮らす」平本
歩(バクバクの会)

参加費

3000円(会員)、5000円(非会
員)

申し込み先・問い合わせ先

大阪発達総合療育センター医局内
事務局(担当:寺裏)

〒546-0035 大阪市東住吉区
山坂5-11-21

☎ 06-6699-8731

FAX 06-6699-8134

✉ 8thnsz@osaka-drc.jp

HP <http://www.happy-at-home.org>

第14回日本乳がん看護 研究会

日時

10月6日(土)9:55~16:30

会場

KFC ホール(東京都墨田区横綱
1-6-1)

テーマ

乳がん患者の地域連携を考える—
今、求められていること

プログラム

- 教育講演1「地域で取り組む緩和
ケア—がんになっても安心して
暮らせる街をめざして」星野彰
(岩手県立中部病院地域医療科
長兼地域医療福祉連携室長兼緩

和医療科長)

- 教育講演2「その人らしい暮らしを支える」平原優美(あすか山訪問看護ステーション, 在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師)
- 指定演題「地域連携・在宅療養支援」
- ケースカンファレンス1「周産期・育児期の乳がん患者への看護支援」
- ケースカンファレンス2「在宅で過ごす終末期乳がん患者への支援」
- ミニセミナー

定員

300名

参加費

事前登録: 会員 4000 円, 非会員 5000 円(9月15日まで)

当日: 会員 5000 円, 非会員 6000 円

申し込み方法

下記ホームページ参照

問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究科成人看護学領域

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

☐info@jabcn.jp

☎http://www.jabcn.jp

第34回日本分娩研究会プログラム

日時

10月18日(木)13:00~17:45
(開場 12:00)

会場

朱鷺メッセ(新潟県新潟市中央区万代島 6-1)

テーマ

先を読む分娩・産後ケア

プログラム

- 会長講演「医師と母子の間で—妊婦の急変症例・満期近い胎児の急変症例から学ぶ」徳永昭輝(徳永産婦人科医院院長)
- 教育講演「これからの助産師のあり方」齋藤益子(東京医療保健大学大学院教授)
- 「妊娠高血圧症候群(HDP)の定義変更をめぐる—HDPは全身疾患であると理解しよう」松田義雄(三島総合病院顧問)
- ワークショップI「分娩介助先を読むポイントとその対応」
- ワークショップII「胎児急変に対する対応」

参加費

5000 円(一般), 3000 円(学生)

※事前登録は行ないません, 研究会当日に, 受付でお支払いください。

問い合わせ先

☎http://bunben.kenkyukai.jp/special/index.asp?id=27907

日本母性衛生学会 第59回総会・学術集会

日程

10月19日(金)~20日(土)

会場

朱鷺メッセ(新潟県新潟市中央区万代島 6-1)

テーマ

朱鷺の国から—母性衛生のさらなる飛翔へ

プログラム

- 会長講演「胎児が母体の中で育つ不思議—妊娠と免疫の関わりなどを通して(仮題)」高桑好一(新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター教授)
- 特別講演1「子どもを守るための予防接種—母親ができること」

齋藤昭彦(新潟大学大学院医歯学系小児科学講座教授)

- 特別講演2「妊娠中の広汎子宮頸部摘出術(仮)」榎本隆之(新潟大学大学院医歯学系産科婦人科学講座教授)
- 招請講演「優しさ溢れる未来のために」菊池桃子(女優・戸板女子短期大学客員教授)
- 教育講演1「LGBTと医療」中塚幹也(岡山大学大学院保健学研究科教授)
- 教育講演2「母性衛生の途上国への新たな国際展開」大橋一友(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)
- 教育講演3「不育症診療の現状と課題—さらなる妊娠予後改善にむけて」出口雅士(神戸大学大学院医学研究科地域医療ネットワーク学分野特命教授)
- 教育講演4「CTG モニタリング: なぜそうなる? を考えながら, 管理しよう」松田義雄(三島総合病院顧問)
- 教育講演5「産後から始まる骨盤ケア」吉田好雄(福井大学医学部産科婦人科学教授)
- 教育講演6「高年初産婦に特化した子育て支援ガイドラインに則った看護ケア」森恵美(千葉大学大学院看護学研究科教授)
- 教育講演7「母児の予後を見据えた望ましい多胎妊娠管理」石井桂介(大阪府立母子医療センター産科部長)
- そのほか, シンポジウム, ワークショップなど

参加費

当日参加: 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 5000 円, 学生 5000 円

※当日の参加は現金のみ

問い合わせ先

公益社団法人日本母性衛生学会

☎ 03-3820-2117

FAX 03-3820-2118

第 15 回日本周産期 メンタルヘルス学会学術集会

日程

10月27日(土)、28日(日)

会場

神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(兵庫県神戸市中央区港島中町4-7-2)

テーマ

いま、あらためて「寄り添う」を考える

プログラム

【10月27日】

- 会長講演『「寄り添う」ということ(仮)」玉木敦子(神戸女子大学看護学部教授)
- シンポジウム①「妊産婦や家族の思い：周産期メンタルヘルスに求められているもの」
- 基調講演「日本周産期メンタルヘルス学会の15年をふりかえって(仮)」岡野禎治(日本周産期メンタルヘルス学会理事長)
- シンポジウム②「妊産婦のこころを支える：さまざまな場と専門職の役割」

【10月28日】

- シンポジウム③「今あらためて注目したい：明日の周産期メンタルヘルス治療のために」
- 特別講演「妊産婦の自殺の実態とメンタルヘルス支援体制の充実に向けて」
竹田省(順天堂大学医学部産婦人科特任教授)
- 特別企画「流産・死産を経験し

た女性と家族の体験、ピアサポート」

●ポスターセッション

参加費

会員 5000 円、非会員 6000 円、
学生 1000 円(要学生証提示)

申し込み方法

下記ホームページ参照

申し込み期間

10月19日(金)まで

問い合わせ先

学会事務局 安川通子

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学保健管理センター内

☎ 080-3622-8911

FAX 059-231-9049

✉ mental-3@hac.mie-u.ac.jp

HP <http://pmh.jp/index.html>

日本看護協会平成30年度 インターネット配信研修 [オンデマンド]

配信期間

2019年1月31日(木)13:00
まで

内容

【JNA ラダーレベルⅢ到達のための研修】看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和など、JNA ラダー4つの力に関連した研修／「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」を目指して！—看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドラインの活用／【CLOCMiP レベルⅢ認証申請のための必須研修】医療安全と助産記録など、全31研修

受講料

会員 2052 円、非会員 3132 円
(税込、1 研修 90 分)

申し込み方法

下記ホームページより申し込み

HP <http://www.nurse.or.jp/nursing/education/training/web/index.html>

申し込み締切

2018年7月2日(月)(一部10月2日(火))～2019年1月17日(木)13:00 まで

問い合わせ先

日本看護協会オンデマンド担当事務局

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

☎ 042-492-7325

FAX 042-492-7451

✉ ky-od@nurse.or.jp